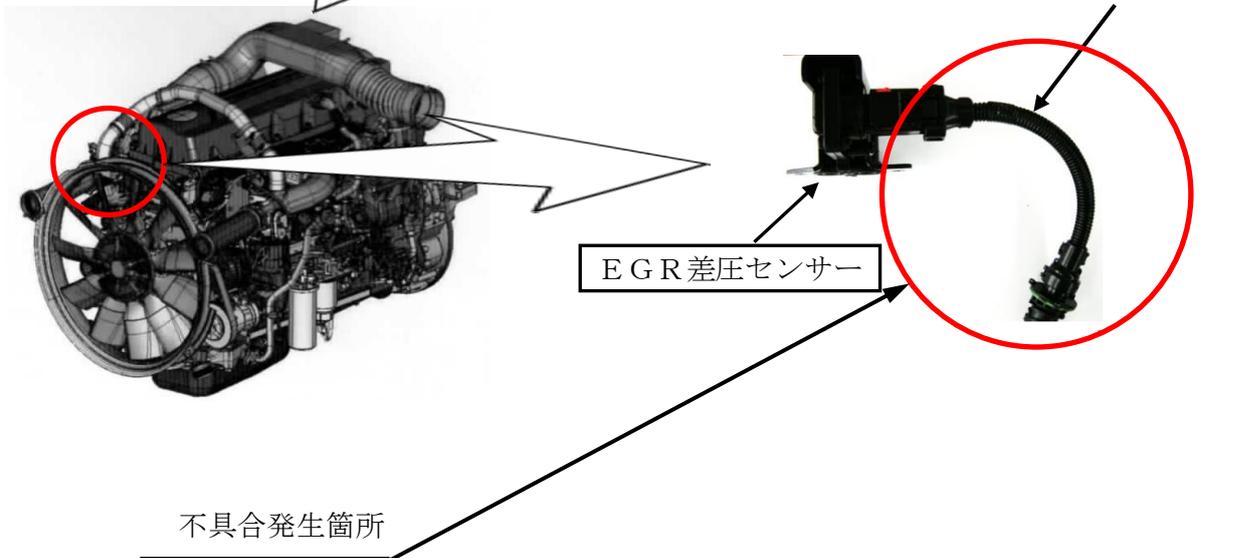


改善箇所説明図



大型トラックにおいて、エンジンのEGR 差圧センサーの配線部の内部構造が不適切なため、車両振動などを受けて、保護チューブ内で配線同士が接触し、被覆が摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、被覆が剥がれ、最悪の場合、センサーの配線が断線または短絡することで、エンジン警告灯が点灯するとともにEGR が作動しなくなるため、排出ガス値が基準値を超えるおそれがある。
EGR（排気ガス再循環装置）：排気ガスを燃焼室に循環させることにより、排気ガス温度の上昇を抑え、窒素酸化物の生成を抑制するもの

改善の内容
全車両、EGR 差圧センサーを対策品と交換する。

注： 内は交換部品を示す。
識別：EGRセンサー側のコネクタ部に、白色ペイントを塗布する。